

2024 年度事業計画

1. 基本方針

南町田グランベリーパークにおいて、公園、商業施設、パークライフ・サイト（以下、まとめて「3施設」とする。）という、まちの3つの機能が連携しながら、まち全体を楽しく使いこなし、まちのブランディング・活性化に資する活動に積極的に取り組むことで、南町田ならではの”みどり“と”にぎわい“が融合したパークライフをより魅力的なものに醸成していくことが期待される。

2024 年度は、3施設の運営主体がまち全体を使って実施するイベント等の活動をさらに発展させるべく、評価制度を取り入れる。また、3施設間の連携時の事務業務を継続して支援しながら、新たな取り組みとして、地域プレイヤーの受け皿となるプラットフォームの立ち上げを支援していく。

2. 2024 年度予定実施事業

(1) 資金助成事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に対する資金助成を行う。また、資金助成事業の効果測定の運用を始める。

(2) 資金収集・管理事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に必要な資金収集を行い、管理する。

資金収集事業の一環として、南町田グランベリーパークの視察依頼に対応し、視察料を収受する。また、継続して新たな資金収集の方策を検討する。

以上

【参考】

◇2023年度の振り返りと2024年度の方針

本年度は、3施設合同の地域情報誌の制作を通じて、地域プレイヤーを巻き込むことができた。制作に携わった方からは、継続してまちに関与できる仕組みを求める声があり、次年度は、地域プレイヤーの受け皿となるプラットフォームの立ち上げを支援していきたい。具体的には、南町田のコンテンツを企画・発信するコミュニティプログラムを運用して、段階的に、地域プレイヤーによる空間活用までの試みを想定している。

鶴間公園では、ボランティア講座を開催し、草花を育てるフラワーボランティアを募集し、市民との新たな接点づくりを始めている。

また、各イベントに関しては、実施した成果（効果）や今後の展望について、確認できるよう報告書のフォーマットに落とし込んだ。従来通り、過年度に行ったものと同様のイベントに対する助成については、前回からの改善点や工夫点を重視して精査していく。

さらに次年度から、助成対象事業に対する評価項目等を設定し、まちの活性化やブランディングに繋がったかどうかという視点で効果測定を行う。また、当法人の一方的な評価だけではなく、3施設内でも相互評価をして振り返る機会を創出していく。

◇2023年度実施事業の概況

(1) 資金助成事業

①資金助成に関する事業

- ・事業実績報告書のフォーマット化
- ・助成対象事業の評価項目の設定、評価シートの整備
- ・資金助成事業の効果測定の手法を検討

②資金助成を行った主な活動

| 活動主体 | 活動名 |
|----------------------|--|
| 一般社団法人まちライブラリー | まちライブラリー@南町田グランベリーパーク運営 |
| TSURUMA パークライフパートナーズ | 夏休み自由研究大作戦・つまパーク大作戦 さくらフェスティバル・ボランティア講座 |
| グランベリーパークマネージメントオフィス | 施設間連携支援・まちの防災2023 |
| 株式会社ミュージアム・スタッフ | 黒板アートイベント・PLS 夏イベント・PLS 冬季イルミネーション |

(2) 資金収集・管理事業

①資金収集に関する事業

- ・視察依頼の対応による視察料収入の確保
- ・視察料の見直し等に伴う視察対応マニュアルの改定
- ・新たな資金収集に向けた納付システムの構築

②資金管理に関する事業

- ・月1回程度顧問税理士との会計定例打合せを実施
- ・ネットバンキングの導入